

## 外郭団体評価調書【株式会社用】

## 1. 基本情報

平成28年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212
	白新町1丁目自治会会長	ホームページ	<a href="http://www.toyosaka-tmo.com">http://www.toyosaka-tmo.com</a>
市所管課	北区役所産業振興課	電子メール	<a href="mailto:tmo@icss.jp">tmo@icss.jp</a>
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域の暮らしに貢献する企業を目指す ・社会的信頼・信用の高い企業		

## 2. 主要事業

事業名 ①			事業概要				
北区観光協会運営業務受託事業			北区観光協会の管理運営業務、観光PR事業及び特産品PR事業を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算)
—	—	収入額	千円	3,000	3,000	3,000	3,000
活動指標・成果目標			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①会員の獲得	計画	人		107	105	104	101
	実績			102	10	98	
②PR事業	計画	回		10	10	8	5
	実績			7	6	5	

事業名 ②			事業概要				
TMO管理運営事業			中心市街地活性化事業の推進及び支援を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算)
—	—	収入額	千円	0	0	0	0
活動指標・成果目標			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①葛塚市の活性委員会開催	計画	回		0	0	0	0
	実績			0	0	0	
②個店支援	計画	店		60	80	80	85
	実績			80	80	80	

事業名 ③			事業概要				
ヤマザキショップ豊栄駅店収益事業			ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算)
—	—	支出額	千円	27,403	27,882	27,541	27,673
活動指標・成果目標			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
①ヤマザキショップ豊栄駅店の売上げ	計画	千円		28,176	31,000	28,000	27,000
	実績			27,302	27,698	26,834	

## 3. 組織等の状況

## (1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
役員数	11	8	8	9
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	11	8	8	9
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	10	8	8	9
その他	1	0	0	
職員数	14	21	22	22
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	13	20	21	21
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	13	20	21	21
見直し等の取組み				

## (2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）

(単位：人)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	13	13	20	21
	合計	14	14	21	22
年齢構成	20代以下	0	0		
	30代	0	0		
	40代	5	5	5	5
	50代	4	4	8	8
	60代以上	5	6	8	9
	合計	14	15	21	22

## (3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算
報酬・給与等	11,969	17,860	17,860	18,132
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	11,969	17,860	17,860	18,132
常勤	2,412	2,412	2,412	2,412
内 市職員分				
非常勤	9,557	15,448	15,448	15,720
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,412	2,412	2,412
見直し等の取り組み	「道の駅豊栄」現場駅長3名と事務職員1名をH26.4.1から採用。	「道の駅豊栄」売店の営業権取得に伴い従業員7名をH26.4.1から採用。	Yショップ豊栄駅店早朝勤務1名増	Yショップ豊栄駅店配置転換による見習い期間分人件費増

## (4) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

## 4. 財務の状況

## (1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	64,894	104,752	103,345
		営業費用	59,855	100,866	100,712
		売上原価	30,738	64,075	63,339
		事業費			
		販売費・一般管理費	29,117	36,791	37,373
	営業損益	5,039	3,886	2,633	
	営業外損益	営業外収益	15	48	146
		営業外費用	0		
		営業外損益	15	48	146
	経常損益	5,054	3,934	2,778	
損特別	特別利益	15,400	11	9	
	特別損失				
	特別損益	15,400	11	9	
税引前当期損益		20,454	3,945	2,787	
法人税、住民税及び事業税		4,239	759	917	
当期損益		16,215	3,186	1,870	
前期繰越損益		▲ 6,961	0	0	
当期末処分損益		9,254	3,186	1,870	
処利 分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	0	0	0	

## (参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	12,537	18,840	19,260
役員分	0	0	
職員分	12,537	18,840	19,260

## (2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
資産の部	資産の部合計	55,304	55,181	57,979
	流動資産	36,073	36,372	38,752
	現金預金	29,924	29,636	33,468
	受取手形			
	未収金	3,385	1,548	1,633
	有価証券			
	その他流動資産	2,764	5,188	3,651
	固定資産	19,231	18,809	19,227
	有形固定資産	17,596	16,774	17,192
	無形固定資産	57	57	57
	その他投資等	1,578	1,978	1,978
	繰延資産			
負債の部	負債の部合計	12,750	9,441	10,369
	流動負債	9,474	5,889	6,204
	短期借入金			
	その他流動負債	9,474	5,889	6,204
	固定負債	3,276	3,552	4,165
	長期借入金			
その他固定負債	3,276	3,552	4,165	
純資産の部	純資産の部合計	42,554	45,741	47,611
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金			
	剰余金	9,254	12,441	14,311
	うち当期未処分損益 (当期損益)	9,254 16,215	12,441 3,186	14,311 1,870
負債の部及び純資産の部合計		55,304	55,182	57,980

## (3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
市財政支出等の合計		1,733	103	103
補助金	補助金	0	0	0
	事業費補助金			
	運営費補助金			
	設備投資に係る補助金			
	負担金			
	交付金			
	委託料	1,733	103	103
	内 随意契約額※	1,733	103	103
	貸付金(期中借入額)			
	出資・出捐金(追加額)			
その他				
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)				

※ 随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

--

## 5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

## （1）財務の健全性

指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常損益		5,054 千円	3,934 千円	2,778 千円
当期損益		16,215 千円	3,186 千円	1,870 千円
自己資本比率	純資産	76.9 %	82.9 %	82.1 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	380.8 %	617.6 %	624.6 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	42.0 %	38.2 %	37.1 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金） 純資産 －資本金（基本金）		9,254 千円	12,441 千円	14,311 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それによって運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

## （2）団体の自立性

指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	2.7 %	0.1 %	0.1 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## (3) 経営の効率性

指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度
総資本経常利益率	経常利益	9.1 %	7.1 %	4.8 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	7.8 %	3.8 %	2.7 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.2	1.9	1.8
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	4,635 千円	4,988 千円	4,698 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	361 千円	187 千円	126 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	44.9 %	35.1 %	36.2 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	29,117 千円	36,791 千円	37,373 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	19.3 %	18.0 %	18.6 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			



## (4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
● 有	計画名称 [ ステップ・アップ2016-2(新5カ年計画)2016~2020 ] 計画期間 平成28 ~ 平成32 年度
概要・数値目標	
<概要>	※交流人口を増やす施策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・街中に人の集まる拠点を作る</li> <li>・「葛塚市」を活用して街中を活性化する</li> <li>・支援事業を継続する</li> </ul>
	※居住人口を増やす施策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査事業を進める</li> <li>・Iターン、Uターン若者の受け入れ態勢を整える</li> <li>・高齢者と若者の食を守る</li> </ul>
● 無	未策定理由 [ ]

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
● 有	就任時期 年度~ 依頼先職種 [ ]	● 有	依頼時期 平成15 年度~ 依頼先職種 [ 公認会計士(有)風間会計社 ]
● 無			無

③ 事務処理改善の取組み	
● 有	取組内容 平成22 年度~ [ 株式会社まちづくり豊栄事務専決規程 ]
● 無	

④ 人材育成の取組み	
● 有	取組内容 年度~ [ ]
● 無	

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
● 有	策定期間 平成 年度~ 規定名称 [ ]	団体ホームページ掲載	● 定款等 平成22 年度~
			● 事業内容 平成19 年度~
			● 役員名簿 平成19 年度~
			役員報酬 年度~
● 無	未整備理由 [ 規程を整備するほどの事業規模にないという判断でしなかったが、必要性を含めて検討する。 ]		● 事業報告 平成19 年度~
			損益計算書 年度~
			貸借対照表 年度~
			● 事業計画書 平成19 年度~
			● 予算概要 平成22 年度~

改善対応区分

- A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
- B:改善の取組の効果が始まっている
- C:改善の取組に着手
- D:改善の取組に向けて検討中
- E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【今後の取組み】の改善状況

		今後の取組み					
		地域の特色を活かしたブランドづくり、特産品の販路拡大など、内外へアピールする事業を展開する。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		北区観光協会の運営を担当し、「キタ・ミテ・キタク」実行委員会事務局及び北区特産物研究協議会に参加した。					
①	今後の改善・対応方針等	北区観光協会として取り組むべき分野と「まちづくり会社」として取り組むべき分野を精査・分類し、ブランド化や特産品開発分野は観光協会や特産物研究協議会の活動を支援する。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	工程	キタ・ミテ・キタク実行委員会	継続	継続	継続	継続	
		特産物研究協議会	支援内容の精査	支援活動実施	支援活動実施	支援活動実施	

		今後の取組み					
		Yショップ豊栄駅店は、「まちづくり」会社の重要な拠点と位置付けており、赤字を最小限に抑えながら、維持継続していきたい。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		黒字化を目指し、増収策及び経費削減を実施したが黒字化までは届かなかった。					
②	今後の改善・対応方針等	導入当初における行政からの強い要請という事情は理解した上で、JR利用者を中心とした住民サービスという観点から経営継続という意味は変わらない。今年度も黒字化を目指す。駅前再開発事業での営業についても要検討事項となる。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	工程	売れ筋商品の発掘及び外販商品の販路拡大	継続	継続	継続	継続	
		経常経費の削減	継続	継続	継続	継続	

		今後の取組み					
		中長期計画「ステップアップ2016」の見直しを含めたアクションプラン作成の検討をおこなう。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		ステップアップ2（2016～2020）という新5か年計画を策定した。					
③	今後の改善・対応方針等	株主総会において上記「新5か年計画」を組織決定し、具体的アクションプランの策定計画を行う。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	工程	中長期計画の見直し	プランの作成計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	

今後の取組み							
今年度は収支状況を精査し、来年度作成予定の中長期計画に具体的な事業を盛り込んでいきたい。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		3期連続の単年度黒字決算を成し遂げることができた。また、経常黒字を続けたことで自信を持って、新長期計画に取り組むことができた。					
④ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		単年度黒字の継続と、新5か年計画のアクションプランを具体化する。				
	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	中長期計画の見直し		アクションプランの策定	計画の推進	計画の推進	計画の推進	
工程							

今後の取組み							
具体的な事業として、街なかの賑わい創出、高齢化・人口減少対策、空店舗・空家対策等を実行していきたい。							
改善・対応区分		A	B	●	C	D	E
前年度の改善・対応内容		若者と連携した魅力ある商店街づくり事業を支援し、具体化可能な事業の抽出を実施した。特に商店街内拠点の整備などの具体化を検討した。					
⑤ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		商店街若者協働プロジェクト事業を継続的に支援し、次年度以降の事業化を目指し「区づくり予算」への申請や関係機関の補助制度の調査を実施する。				
	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	交流人口増対策		若者協働事業の支援及び葛塚市の活用支援	新たな商店街内拠点の開設、事業着手	継続	継続	
工程		居住人口増対策	空き家空き店舗の現況調査	空き家空き店舗活用事業の具体化	事業着手	継続	

今後の取組み							
中長期的には、道の駅豊栄の大規模改修に備えながら、道の駅周辺開発の提案・実施していきたい。							
改善・対応区分		A	B	C	●	D	E
前年度の改善・対応内容		プロポーザル方式による市有地売却への対応で中心市街地活性化の事業調査及び事業計画策定を目指したが、資金面等の諸問題が未解決のため申請を断念した。					
⑥ 今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		今後、区役所本館跡地利用計画に視点を移し、中心市街地再開発の基本計画策定への可能性や道筋を見極め、関係各機関との検討を進める。				
	実施事項		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	駅前再開発事業の調査研究		参入可能分野の調査研究	参入分野の事業計画	継続	継続	
行程		区役所本館跡地利用計画の調査	関係機関との連携による調査検討機関の立ち上げ	利用計画の検討	継続	継続	

改善対応区分  
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)  
 B:改善の取組の効果が始まっている  
 C:改善の取組に着手  
 D:改善の取組に向けて検討中  
 E:今は実施せず今後の課題とする

(2) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

今後の取組み											
中長期計画の見直しとアクションプラン作成に早急に取り組む必要がある。 中長期計画に具体的な事業を盛り込む場合には、「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方についての検討結果を反映した計画とする必要がある。											
改善・対応区分		A	●	B		C		D		E	
前年度の改善・対応内容	単年度経常黒字を確認するための年度であったため、年度後半から、新たな長期計画策定に向けて議論を進め、重点的に取り組むべき項目と事業の優先順位づけを進めた。										
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	新5か年計画のアクションプランを具体化する。									
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
	中長期計画の見直し	アクションプランの策定	計画の推進	計画の推進	計画の推進						
	街中に人の集まる拠点をつくる	事業計画策定 自治協へ提案	事業着手	継続	継続						
「葛塚市」を活用し街中を活性化	募集開始・出店	継続	継続	継続							

今後の取組み											
ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業に関して、会社、行政、商工会、自治会等の関係機関とのネットワーク強化が必要である。											
改善・対応区分		A	●	B		C		D		E	
前年度の改善・対応内容	ブランド化については、最重要計画という位置付けを見直し、各団体・関係機関の活動状況を注視し、必要なタイミングで当社が支援する方向とした。										
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	最重要課題である「賑い創出」については、交流人口増という課題に変更することとする。また、定住人口増という課題については「区役所本館跡地利用計画」に的を絞り、上記関係機関との連携を深め検討組織を提案する。									
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
	関係機関との関係強化	継続	継続	継続	継続						
	区役所本館跡地利用計画の調査	関係機関との連携による調査検討機関の立ち上げ	利用計画の検討								

今後の取組み											
収支回復に向けて、ブランド化によるまちづくり、賑い創出事業を具体的なアクションプランを作成するとともに、早期に実施することが必要である。											
改善・対応区分		A	●	B		C		D		E	
前年度の改善・対応内容	ブランド化については、上記のとおり。賑い創出事業については「若者と連携した魅力ある商店街づくり事業」を積極的に支援した。										
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	商店街若者協働プロジェクト事業を継続的に支援し、次年度以降に具体的アクションプランにまで持ち込めるような熟度を求めることとする。									
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度						
	中長期計画の見直しを実施	アクションプランの策定	計画の事業化	継続	継続						

今後の取組み						
団体は本来豊栄地区のまちなか活性化を目的としたものであるが、近年の状況を見ると収支的には「ヤマザキショップ豊栄駅店」の収益に頼る部分が多く、活性化が実現されているのか疑問である。今後の団体のあり方についても検討が必要である。						
改善・対応区分	A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容	従来指導され続けてきた「経営黒字化」とようやく達成することができた。行政からの直接的な補助金をほとんど受けない体制でも黒字化することができた。Yショップの黒字化は未達成だったが、会社全体としては予定通りの利益を達成することができた。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	収支的にはYショップというよりは「道の駅」経営に依存している。「道の駅」の利益を中心市街地に還元するという当初の目的に近くなってきたので、ようやく本来の事業に取り組み事によって団体のあり方を明確にしたい。				
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	「道の駅豊栄」収支改善	黒字化の継続と大規模改修費用の確保	継続	継続	継続	
時間貸駐車場収支改善	契約期間の確保	継続	継続	継続		

今後の取組み						
赤字決算となった駅中売店（ヤマザキショップ豊栄駅店）について、増収策と併せて、経費削減策を検討・実行する必要がある。						
改善・対応区分	A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容	黒字化を目指し、増収策及び経費削減策を実施したが黒字化までは届かなかった。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	導入等他らの行政からの強い要請という事業は理解した上で、JR利用者を中心とした住民サービスという観点から経営継続という意味は変わらない。今年度も黒字化を目指す。駅前再開発事業での営業についても要検討事項となる。				
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	増収策及び経費削減の実施	継続	継続	継続	継続	
駅前再開発事業への検討	南口駅前拠点の調査	継続	継続	継続		

今後の取組み						
「道の駅豊栄」を活用した特産品の販売など、地域の特色をアピールする取組みを強化することが望まれる。						
改善・対応区分	A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容	品揃えの改善などの成果で、ほぼ予定通りの利益を確保することができた。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	本来の中心街ではない「道の駅」経営については、その利益を中心市街地に還元することを目的としていることに変わりはない。大規模修繕等の資金的な準備も含めて、本来の「まちづくり会社」としての事業を優先して取り組むこととした。				
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	品揃え変更及び広報活動による黒字化の継続	継続	継続	継続	継続	
大規模修繕の資金確保	継続	継続	継続	継続		

改善指示事項							
本来のまちづくり会社としての役割が十分機能しているとは言えず、今後の事業展開のあり方を引き続き検討する必要がある。 設立目的である中心市街地及び街づくりの活性化に資するより一層の取組が望まれる。そのための市との連携及び商店街の協力が欠かせない。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		今後の事業展開について、その方向性や優先順位を整理した。特に、商店街や行政との連携を深められる事業を模索して新長期計画に盛り込んだ。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	中活法の対象外となった当社が、単年度黒字を続けられるようになり、これから本格的に街づくり事業に取り組むために、行政や商店街との連携を深める活動を積極的に実施する。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	支援事業の継続実施	支援事業の精査	継続	継続	継続		
	街中に人の集まる拠点をつくる	事業計画策定 自治協へ提案	事業着手	継続	継続		
	「葛塚市」を活用し街中を活性化する	事業開始・出店	継続	継続	継続		
区役所本館跡地利用計画の調査	関係機関との連携による調査検討機関の立ち上げ	利用計画の検討	随時	継続			

今後の取組み							
「まちづくり」会社としてどのような事業に取り組むべきかなど、法人のあり方を明確化する取組を進捗させるためには、経営者が課題を自覚し、リーダーシップを発揮していくことが求められる。実態と責任の伴う職務執行が可能な経験のある役員を登用するなど、経営体制を強化することも必要と考える。							
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
前年度の改善・対応内容		現経営陣に対する行政側の評価の低さは十分理解した上で、新5か年計画の策定に思いを集中した。					
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	若手新取締役を加え、ボランティア体質であった経営体制の質的強化を図る。					
	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度		
	取締役に若手を加える	株主総会承認	継続	継続	継続		
行政及び関係機関による人材派遣の依頼	制度・仕組みの調査検討	継続	継続	継続			

## 7. 評価の結果

## 【団体の評価コメント】

<b>財務の健全性</b>	前期の決算で、わずかながら黒字を見込める結果が確認できた。しかしながら、最低賃金の引き上げがささやかれている昨今、人件費の増大が大きな負担となることが必須で、予断を許さない状況である。更なる経費の削減と売上増のための取り組みが必要となる。
<b>団体の自立性</b>	新潟市からの50%出資（16,650千円）はあるものの、その他の財政支出は103千円（レンタサイクル事業受託）のみであり、自立性が低いとは認識していない。
<b>経営の効率性・適正性</b>	まちづくり会社としての事業の他にも「北区観光協会」の事務局を受託し、様々な観光事業の構成メンバーとして活動しており、新潟市や豊栄商工会をはじめとする各関係機関との連携は効率的かつ正確に機能している。取締役にも、若手2名を加え若返りを図った。
<b>その他</b>	「道の駅豊栄」を含む全国の道の駅は1,100駅を超え、「全国道の駅協力会」組織が結成され、国の施策としてEV充電機能・WiFi機能設置をはじめ、観光の拠点・防災の拠点として整備される方向が示されました。その一員としての対応が今後の課題となります。
<b>総括的な所見</b>	
「新5か年計画」にある「まちづくり会社らしい事業」を一つ一つ実行していくことに全力を注いでいきます。その条件は揃ったと認識しております。	

## 【所管課による評価】

<b>現状に対する評価</b>	指摘事項にもあった若手役員登用による経体制営強化やまちづくり会社としての新中長期計画の策定は評価している。
<b>課題及び改善すべき事柄</b>	新中長期計画の実現に向けた具体的取り組みを、迅速かつ確実に実施して欲しい。
<b>今後の指導方針</b>	新中長期計画に沿った事業の実施に向け、市及び区の基本方針等と照らし合わせながら適時助言・指導をおこなう。

## 【今後の取り組み】

①	上記、経営改善状況に記載した取り組みを、順次実施していく。
②	
③	
④	

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	● 改善が必要	抜本的な対応が必要
<b>総括的な所見</b>			
<p>新5か年計画が策定され、「まちづくり会社」として交流人口を増やす施策と居住人口を増やす施策に区分整理して、実施すべき事業の方向性を決定しており、改善傾向にある。しかし、同計画は、将来的な資金的裏付けが無い中で策定されているため、事業の方向性に関する基本方針としての性格が強く、年度毎の進捗計画や5年後の具体的な姿が明示されていないなど、具体性に欠ける面があり、計画内容の更なる充実が必要である。</p> <p>改善項目に対する取組は評価できるが、設立目的である「中心市街地及びまちづくりの活性化を図る」という大きな目的を果たすための体制及び予算は十分とは言えない状況である。掲げた目的を果たすためには体制の見直しが必要であり、現状のままでは目的のための補佐的役割しか発揮出来ないと思われる。</p> <p>情報公開について、会社法第440条に基づく貸借対照表に関する公告が行われていない。定款に定める官報による公告を行うか、定款を変更してホームページにおける電子公告などを導入するかなど、適切な公告方法を検討し、法令に準拠した情報公開を行う必要がある。</p>			
<b>今後の取組みに対する評価、改善指示事項</b>			
<p>「新5か年計画」の内容は適正であるが、現体制及び予算のままでは成果をだすことは難しいと思われる。現体制及び予算の範囲で優先課題に取り組んでいくべきである。</p> <p>「新5か年計画」は、年度毎の進捗計画や5年後の具体的な姿を明示するなど、計画内容の更なる充実が必要である。その上で年度ごとに実施する具体的なアクションプランを策定し、実施していく必要がある。</p> <p>旧市街地活性化の取組も大切であるが「道の駅」は、まちづくり豊栄の取組事業の突破口ともなりうる可能性がある。豊栄の農家・商業者等を巻き込んで地産果物を旬なうちに提供する、ブランド化して「道の駅」の更なる活性化を図る、などの取組は地域の活性化に叶うひとつともいえる。</p> <p>団体の状況が設立当時から大きく変わってきていることを踏まえ、設立目的を果たすためには、所管課及び団体において協議・検討が必要と思われる。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

<p>「道の駅豊栄」の安定した収益を中心とする会社経営を前提としながら、設立目的を果たしていくことが肝要との認識に立って、早期に所管課との協議の場を設けるとともに、目的達成のための事業等を実施していきます。</p> <p>情報公開については、ホームページに貸借対照表等を公開すべく、平成29年度開催の株主総会において、会社登記に併せて定款を変更する提案をし、承認され次第、ホームページに公開します。</p> <p>アクションプランを下記年次計画に基づき実行していきます。シェアハウスの設立などは、現時点で既に事業着手をしており、今後も着実に実行していきます。</p> <p>平成29年2月22日 (株)まちづくり豊栄 代表取締役 金城 道夫</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

改善指示事項							
<p>* 「新5か年計画」は現体制及び予算の範囲で優先課題に取り組んでいくべきである。</p> <p>* 「新5か年計画」は年度ごとの進捗状況や5年後の具体的な姿を明示するなど、計画内容の更なる充実が必要である。</p> <p>その上で年度ごとに実施するアクションプランを策定し、実施していく必要がある。</p>							
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		交流人口を増やす				
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		街なかに人の集まる拠点をつくる	検討・準備	1箇所オープン	検討・準備	1箇所オープン	
		「葛塚市」の出店者を増やす	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR	仕組みづくり・PR	
	成果指標	活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		拠点をつくる	計画		1箇所		1箇所
			実績				
出店者を増やす		計画	3店舗	5店舗	5店舗	5店舗	
	実績						



改善指示事項							
<p>*「新5か年計画」は現体制及び予算の範囲で優先課題に取り組んでいくべきである。</p> <p>*「新5か年計画」は年度ごとの進捗状況や5年後の具体的な姿を明示するなど、計画内容の更なる充実が必要である。</p> <p>その上で年度ごとに実施する具体的なアクションプランを策定し、実施していく必要がある。</p>							
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等		居住人口を増やす				
	工程	実施事項	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		空き家の活用 (シェアハウス)	検討・準備	1軒オープン	1軒オープン	1軒オープン	
	成果指標	空き家の活用 (学生食堂)	検討・準備	検討・準備	1軒オープン	管理・運営	
		活動指標・成果目標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		(シェアハウス)	計画		1軒	1軒	1軒
			実績				
(学生食堂)	計画			1軒			
	実績						